



山下 巧 議員

市民一人一人に届く
情報発信のあり方について

問 文字化対応できる戸別受信機について調査、
検討されたか

答 製品の性能、価格等の情報収集を行うとともに、運用に関しては他市の事例等を調査しているところです

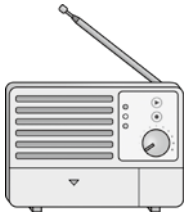
答 政策部長

聴覚に障がいのある方については、音声での伝達が難しく、目で確認できる伝達が必要となります。緊急時の防災情報を携帯電話会社によるエリアメールや市のメール配信サービスの他、テレビデロップへの表示など複数の手段を利用し情報提供を行っています。新たなシステムを運用する令和7年度末には、市のホームページやLINEでも、防災行政無線の放送内容を文字情報としてリアルタイムに配信できるよう検討を進めています。聴覚に障がいのある方への対応はもとより、放送内容を聞き逃した方や自宅で無線放送を聞くことができない方に対しても、的確に情報が伝達できる体制を構築したいと考えています。

問 防災行政無線の新たなシステムは、どのような仕様の導入を考えているのか。

答 政策部長

無線機器等の老朽化に伴い、現在、新たな無線システムを構築するための実施設計業務を行っており、来年度からは次期システムの整備工事等に着手予定です。市内の全世帯を対象に戸別受信機を設置する計画です。



問 文字化対応できる戸別受信機について、調査・検討をされたのか。

答 危機管理監

現在、製品の性能、価格等の情報収集を行うとともに、運用に関しては他市の事例等を調査しているところです。新たな防災行政無線は、長期間にわたって安定して維持できるシステムとなるよう総合的に検討を進めます。

問 ホームページのリニューアルにおける情報伝達の多重化について、具体的なタイムスケジュールは。

答 政策部長

今年度ホームページのリニューアルが完了するので、来年4月以降メール配信の内容を同時にホームページでも見ていただけるように改善したいと思っています。

問 障がいのある方への対応について、どのような配慮を考えているのか。